

部 会	授業ID	曜 日	時 限	科目番号	科 目 名	教官番号	教官名	履修人数	教官区分	科 目 群	質問票
数学	3127	水曜日	2時限	1170100001	数学ⅠA(1)	31050	斎藤 敦	108	3	数学	05

設問ごとの回答集計(1/3)

[5] 科 類	文一	文二	文三	理一	理二	理三	無回答	合 計
担当授業	0	0	0	84	0	0	0	84
	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
科目群全体	78	214	100	4225	1559	214	18	6408
	1.2	3.3	1.6	65.9	24.3	3.3	0.3	100.0

[6] 入学年度	2014年	2013年	2012年	2011年	それ以前	無回答	合 計
担当授業	82	1	1	0	0	0	84
	97.6	1.2	1.2	-	-	-	100.0
科目群全体	5352	957	52	23	15	9	6408
	83.5	14.9	0.8	0.4	0.2	0.1	100.0

[7] 授業の出席率	ほぼすべて出席した(4)	3分の2程度出席した(3)	3分の1程度出席した(2)	ほとんど出なかった(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	81	2	0	1	0	84	3.94	0.36
	96.4	2.4	-	1.2	-	100.0		
科目群全体	5827	342	126	90	23	6408	3.86	0.49
	90.9	5.3	2.0	1.4	0.4	100.0		

[8] 予習復習の程度	週4時間以上(5)	週2～4時間(4)	週1～2時間(3)	週1時間以内(2)	ほとんど行っていない(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	4	11	19	23	27	0	84	2.31	1.18
	4.8	13.1	22.6	27.4	32.1	-	100.0		
科目群全体	258	548	1397	1605	2583	17	6408	2.11	1.15
	4.0	8.6	21.8	25.0	40.3	0.3	100.0		

[9] 授業内容に対する興味	大いに興味を持った(3)	少し興味を持った(2)	興味を持てなかった(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	35	42	7	0	84	2.33	0.62
	41.7	50.0	8.3	-	100.0		
科目群全体	1676	3403	1292	37	6408	2.06	0.68
	26.2	53.1	20.2	0.6	100.0		

[10] 先生の話し方	非常に聞き取りやすい(5)	聞き取りやすい(4)	普通である(3)	聞き取りにくい(2)	非常に聞き取りにくい(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	16	31	29	7	1	0	84	3.64	0.92
	19.0	36.9	34.5	8.3	1.2	-	100.0		
科目群全体	1737	1971	1823	605	258	14	6408	3.68	1.09
	27.1	30.8	28.4	9.4	4.0	0.2	100.0		

[11] 黒板やプロジェクターなどの字	いつも非常にわかりやすい(5)	だいたいわかりやすい(4)	普通である(3)	わかりにくい場合がある(2)	わかりにくいことが多い(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	11	36	23	14	0	0	84	3.52	0.92
	13.1	42.9	27.4	16.7	-	-	100.0		
科目群全体	1749	2076	1372	767	414	30	6408	3.62	1.19
	27.3	32.4	21.4	12.0	6.5	0.5	100.0		

[12] 授業内容の量	ちょうどよい(3)	ちょっと多い(2)	ちょっと少ない(2)	多すぎる(1)	少なすぎる(1)	無回答	合 計	平均値	標準偏差
担当授業	67	6	8	0	3	0	84	2.76	0.50
	79.8	7.1	9.5	-	3.6	-	100.0		
科目群全体	3552	1433	334	793	263	33	6408	2.39	0.75
	55.4	22.4	5.2	12.4	4.1	0.5	100.0		

部 会	授業 I D	曜 日	時 限	科目番号	科 目 名	教官番号	教官名	履修人数	教官区分	科 目 群	質問票
数学	3127	水曜日	2時限	1170100001	数学 I A(1)	31050	斎藤 毅	108	3	数学	05

設問ごとの回答集計(2/3)

[13] 全体を通して みたときの授業 時間 (複数回答)	適切に使 われている	開始時間 が遅い	早く終わ りすぎる	長引きす ぎる	休講が多 い	無回 答	回 答 者 数
担当授業	79 94.0	1 1.2	3 3.6	1 1.2	0 -	0 -	84
科目群全体	5402 84.3	189 2.9	336 5.2	422 6.6	36 0.6	41 0.6	6408

[14] 授業の準 備・計画性	大変よく 準備され ている (5)	よく準備 されてい る (4)	普通であ る (3)	やや準備 不足であ る (2)	準備不足 である (1)	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	25 29.8	36 42.9	21 25.0	2 2.4	0 -	0 -	84 100.0	4.00	0.80
科目群全体	1856 29.0	2250 35.1	1869 29.2	233 3.6	160 2.5	40 0.6	6408 100.0	3.85	0.97

[15] 先生の説明 の仕方	非常にわ かりやす い (5)	わかりや すい (4)	普通であ る (3)	わかりに くい (2)	非常にわ かりにく い (1)	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	18 21.4	39 46.4	24 28.6	3 3.6	0 -	0 -	84 100.0	3.86	0.79
科目群全体	1445 22.5	2036 31.8	1933 30.2	601 9.4	352 5.5	41 0.6	6408 100.0	3.57	1.10

[16] 学生の質問 に対する先生 の対応	非常に丁 寧でわか りやすい (5)	丁寧でわ かりやす い (4)	普通であ る (3)	わかりに くい (2)	非常にわ かりにく い (1)	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	16 19.0	29 34.5	35 41.7	1 1.2	0 -	3 3.6	84 100.0	3.74	0.78
科目群全体	1291 20.1	1760 27.5	2751 42.9	225 3.5	175 2.7	206 3.2	6408 100.0	3.61	0.95

[17] 参考書の内 容や記述	十分理解 できる (5)	なんとか 理解でき る (4)	理解でき ない点 が少し ある (3)	理解でき ない点 が多い (2)	理解でき ない (1)	使用、推 薦、配布 がされて いない	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	22 26.2	26 31.0	23 27.4	9 10.7	2 2.4	1 1.2	1 1.2	84 100.0	3.70	1.06
科目群全体	1346 21.0	1591 24.8	1273 19.9	559 8.7	271 4.2	1194 18.6	174 2.7	6408 100.0	3.63	1.15

[18] TAにつ いて	理解に役 立ってい る	理解にあ まり役 立ってい ない	TAの使 い方に 問題が ある	TAはつ いてい ない	無回 答	合 計
担当授業	4 4.8	5 6.0	1 1.2	71 84.5	3 3.6	84 100.0
科目群全体	1410 22.0	810 12.6	297 4.6	3690 57.6	201 3.1	6408 100.0

[19] 授業の難 易度	ちょうど よい (3)	ちょっと 難しい (2)	ちょっと やさしい (2)	難し すぎる (1)	やさし すぎる (1)	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	42 50.0	30 35.7	4 4.8	3 3.6	5 6.0	0 -	84 100.0	2.40	0.66
科目群全体	2528 39.5	2218 34.6	332 5.2	1062 16.6	218 3.4	50 0.8	6408 100.0	2.20	0.75

[20] 新しい知 識・技能・学 力の獲得	大変身 につい た (5)	身につ いた (4)	普通であ る (3)	あまり身 につか なかつ た (2)	ほとん ど身につ か なかつ た (1)	無回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	9 10.7	37 44.0	32 38.1	4 4.8	2 2.4	0 -	84 100.0	3.56	0.84
科目群全体	898 14.0	2463 38.4	1889 29.5	612 9.6	412 6.4	134 2.1	6408 100.0	3.45	1.06

部 会	授業ID	曜 日	時 限	科目番号	科 目 名	教官番号	教官名	履修人数	教官区分	科 目 群	質問票
数学	3127	水曜日	2時限	1170100001	数学ⅠA(1)	31050	斎藤 毅	108	3	数学	05

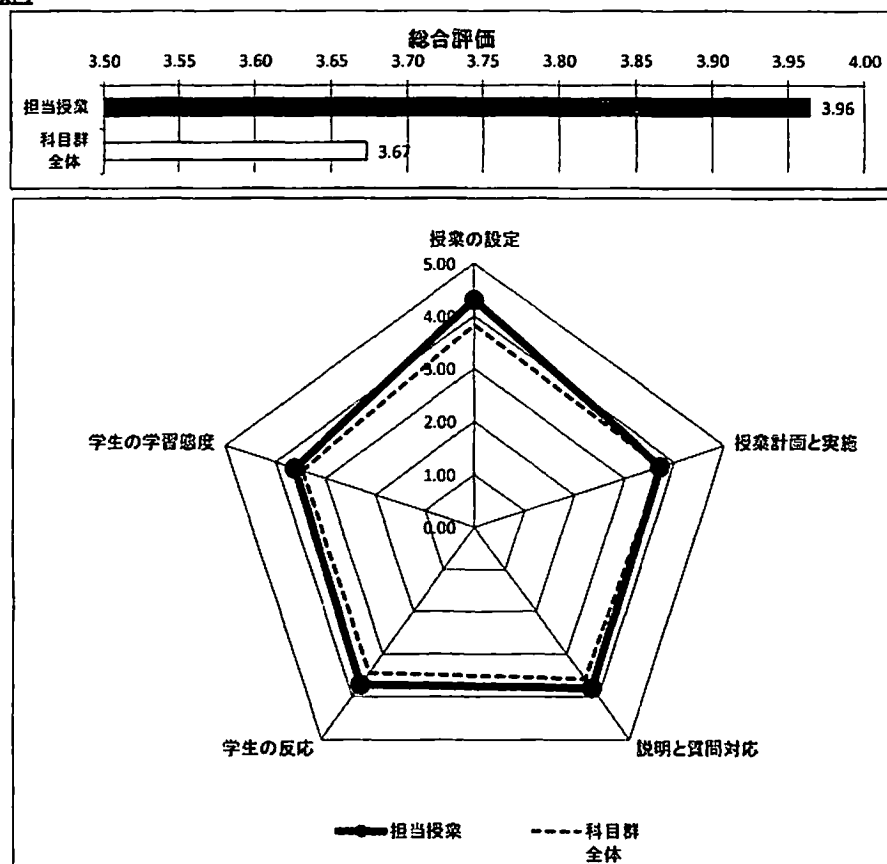
設問ごとの回答集計(3/3)

(21) 総合評価	大変評価 している (5)	評価して いる (4)	普通であ る (3)	あまり評 価しない (2)	全く評価 しない (1)	無 回 答	合 計	平 均 値	標 準 偏 差
担当授業	22 26.2	40 47.6	20 23.8	1 1.2	1 1.2	0 -	84 100.0	3.96	0.81
科目群全体	1499 23.4	2270 35.4	1634 25.5	505 7.9	294 4.6	206 3.2	6408 100.0	3.67	1.07

東京大学教養学部
2014年度夏学期

部 会	授業ID	曜 日	時 限	科目番号	科 目 名	教官番号	教官名	履修人数	教官区分	科 目 群	質問票
数学	3127	水曜日	2時限	1170100001	数学ⅠA①	31050	斎藤 毅	108	3	数学	05

授業評価全体の回答傾向

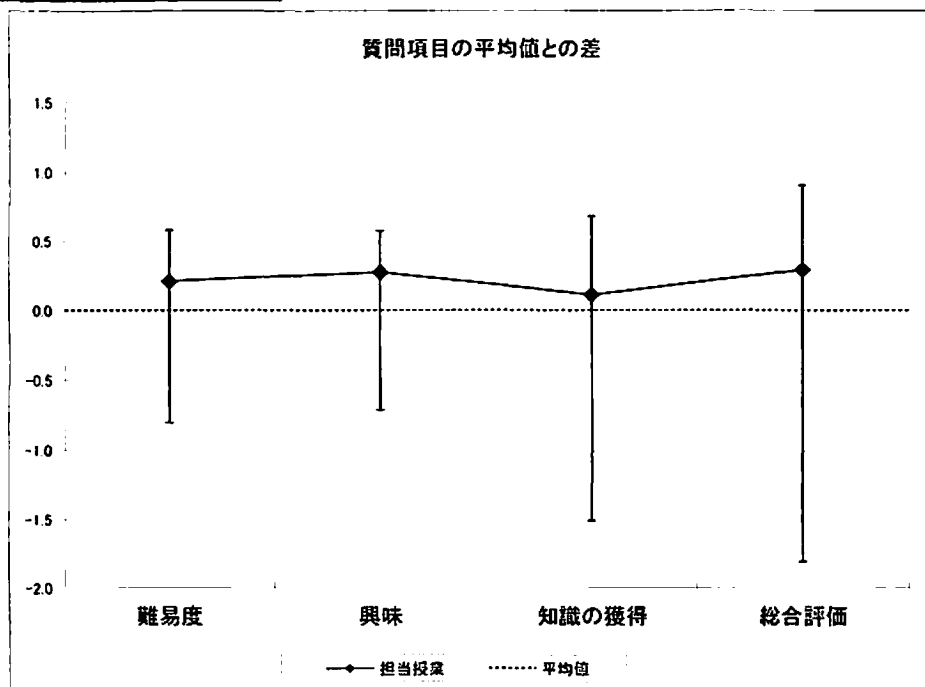


質問カテゴリ	回答の範囲	担当授業	科目群全体	対応する質問項目
授業の設定	1～5*	4.31	3.82	[12]内容の量、[19]難易度
授業計画と実施	1～5	3.72	3.72	[10]話し方、[11]黒板・プロジェクター、[14]準備・計画性
説明と質問対応	1～5	3.80	3.59	[15]説明の仕方、[16]質問の対応
学生の反応	1～5*	3.72	3.44	[9]内容への興味、[20]知識の獲得
学生の学習態度	1～5**	3.62	3.47	[7]出席率、[8]予習復習
総合評価	1～5	3.96	3.67	[21]総合評価

*一部の値は元の値を5/3倍して変換。
 **一部の値は元の値を5/4倍して変換。

部 会	授業ID	曜 日	時 限	科目番号	科 目 名	教官番号	教官名	履修人数	教官区分	科 目 群	質問票
数学	3127	水曜日	2時限	1170100001	数学ⅠA①	31050	斎藤 毅	108	3	数学	05

(参考)質問項目と平均値の差



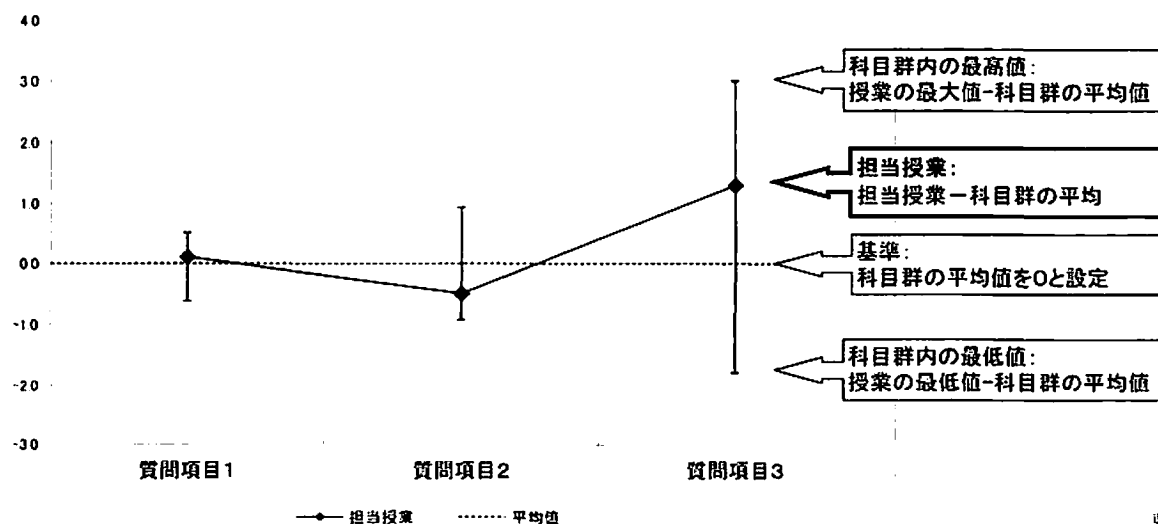
質問項目	回答の範囲	担当授業	科目群全体	ID毎Min	ID毎Max
難易度	1～3	2.40	2.20	1.39	2.78
興味	1～3	2.33	2.06	1.35	2.64
知識の獲得	1～5	3.56	3.45	1.94	4.13
総合評価	1～5	3.96	3.67	1.87	4.58

グラフについて

科目群の平均値を基準として、各項目における担当授業の平均値との差をグラフ化。

また、科目群内における最大値、最小値と平均値との差を計算し、分布の幅として表示。

<グラフの見方>



授業ID	教官名	科目名	数学	26
3127	斎藤 毅	数学 I A①	水曜日	2時限

設問内容 [22]興味深かった項目 [23]時間をかけて説明してほしい点
[24]授業や先生についての良い点、改めてほしい点

回答番号 24. 時間が無いのはわかりますが、証明を見せて頂きたいです。

2366

回答番号 [22]特になし。[23]特になし。[24]抽象的で分かりにくい部分も直観的に分かるよう説明してくれるのが良いと思う。

2367

回答番号 [22]なし。[23]なし。[24]なし。

2368

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法。[23] $\varepsilon - \delta$ 論法で収束を証明する際の基本的指針。[24]非常にハイレベルで大変だが、ためになってます。ありがとうございました。

2369

回答番号 [23]教科書を見ただけでは、理解しにくい証明を取り扱ってほしい。

2370

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法。[23] $\varepsilon - \delta$ 論法の美点について、1次式近似。[24]省略された部分になるべく説明してほしい。

2371

回答番号 22. 2変数関数の微分、微分の意味、連続の定義。23. ティラー展開と巾級数展開。

2372

回答番号 公理からつまずいた。 $\varepsilon - \delta$ の言い回しになれるのに、時間がかかった。演習とかみあってるのかよくわからない。

2373

回答番号 [22]極値について。[23] $\varepsilon - \delta$ [24]証明略が多い。

2374

回答番号 22. 2変数関数の微分・及び偏微分。物理学でも用いるような内容が特に。23. 特にない。24. 特にない。

2375

授業ID	教官名	科目名	数学	26
3127	斎藤 毅	数学 I A①	水曜日	2時限

設問内容 [22]興味深かった項目 [23]時間をかけて説明してほしい点
[24]授業や先生についての良い点、改めてほしい点

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法。[23] 詳細な証明。[24] わかりやすくよかったです。

2376

回答番号 おもしろいです。でも最初はきらいでした。

2377

回答番号 22. とくになし。23. とくになし。24. 分かりやすかった。

2378

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法。[23] $\varepsilon - \delta$ 論法。[24] 上下の黒板が一部重なっていて、上の黒板の下の方の板書が見えないときがあります。

2379

回答番号 [22] 2変数関数を平面で近似する考え方。[23] $\varepsilon - \delta$ による証明。[24] 証明を省略するのはいいが、方針をもう少し詳しく説明してほしい。

2380

回答番号 演習とリンクしていない…?

2381

回答番号 ティラー近似

2382

回答番号 22. 数学的な厳密な定義。23. 特になし。24. 特になし

2383

回答番号 22. $\varepsilon - \delta$

2384

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法的なものがズラズラ出てくる光景。[23] 証明省略した部分。[24] 証明省略が多すぎる気がした。

2385

授業ID	教官名	科目名	数学	26
3127	斎藤 毅	数学 I A①	水曜日	2時限

設問内容 [22]興味深かった項目 [23]時間をかけて説明してほしかった点
[24]授業や先生についての良い点、改めてほしい点

回答番号 [22]偏微分。[24]参考書によって定義が大きく違うので、とまどった。

2386

回答番号 [24]テキストの誤植は授業中に指摘してもらいたい。

2387

回答番号 証明は省略(爆笑)授業の存在意義とは？

2388

回答番号 [23]イプシロンデル論法の問題の解き方。

2389

回答番号 [22]、[24]特になし。[23]特になし。

2390

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法 [23] $\varepsilon - \delta$ 論法を使った証明など。[24]説明浩分かりやすいです。

2391

回答番号 [24]証明略さないで下さい。

2392

回答番号 [22] $\varepsilon - \delta$ 論法による定義。[23] $\varepsilon - \delta$ 論法をもう少し時間をかけてほしかった。[24] 各種証明をできる時間が欲しかった。

2393

回答番号 22. 偏微分。23. 2進小数。

2394

回答番号 [22]テイラー展開。[23]証明の省略が多いので証明に時間がほしい。[24][23]と同様。

2395

授業ID	教官名	科目名	数学	26
3127	斎藤 毅	数学 I A①	水曜日	2時限

設問内容 [22]興味深かった項目 [23]時間をかけて説明してほしい点
[24]授業や先生についての良い点、改めてほしい点

回答番号 22. 偏微分。23. 近似。

2396

回答番号 ・授業内で少し演習をとり入れてほしいです。

2397

回答番号 22. とくになし。23. とくになし。24. 集合の関係などを記号で表してほしいです。

2398

回答番号 [22][23][24]板書で「さっきの定理より」は、やめてほしいなと思います…。

2399

回答番号 [22]連続関数について。[23][24]難しい証明を本に任せるのは良いことだと思います。

2400

回答番号 (24)説明が丁寧でスピードが丁度いい。

2401

回答番号 [23] $\varepsilon - \delta$ 論法の証明。

2402

回答番号 $\varepsilon - \delta$ 論法。 $\varepsilon - \delta$ 論法を使ったあらゆる問についての証明方法を教えてほしいです。証明をかなり省く点が残念でした。

2403

回答番号 22. 多変数関数の微分について。23. 特になし。24. 数学の講義なので、仕方がないかもしれませんが、全体の内容のまとめを説明していただけると嬉しいです。一つ一つの内容がバラバラになっているように、力不足の私は感じました。講義全体としてはとても興味深く受講させていただきました。ありがとうございます。

2404

回答番号 [22]開集合の考え方。[23]整数の定義の前に実数とかを定義してほしい。[24][23]に同じ。

2405

授業ID	教官名	科目名	数学	26
3127	斎藤 毅	数学 I A①	水曜日	2時限

設問内容 [22]興味深かった項目 [23]時間をかけて説明してほしかった点
[24]授業や先生についての良い点、改めてほしい点

回答番号 [22]極限を実数でとらえるところ。[23] $\varepsilon - \delta$ 論法。[24]授業と互いに支えている教科書があることはすごくいいと思います。

2406